



MACNICA

ピン配置の指定方法

技術統括部

V2.0

Libero SoC v12.3

2020年4月

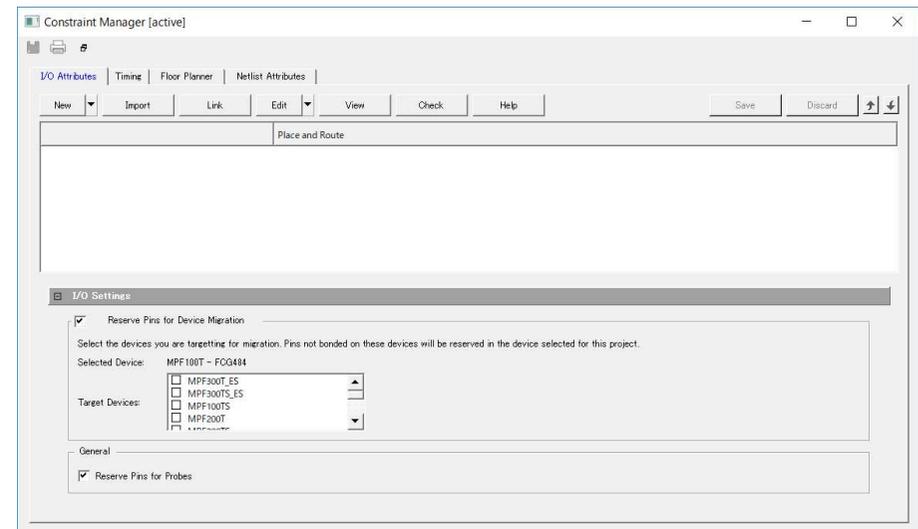
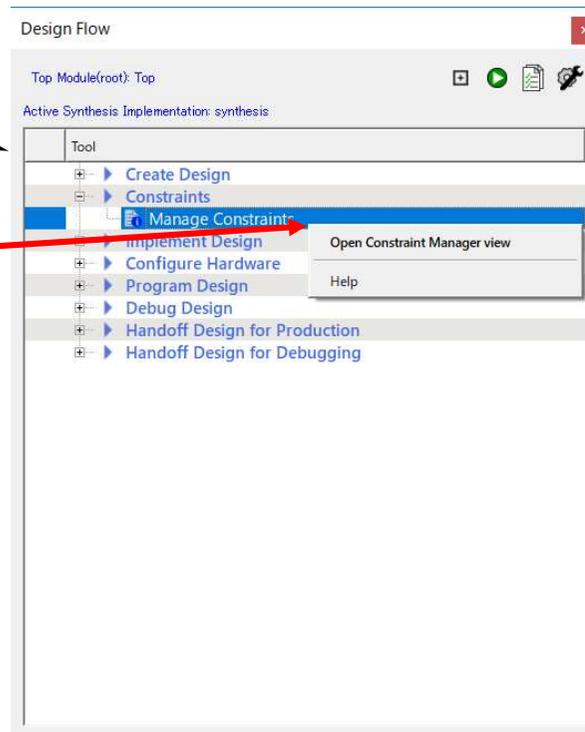
Confidential

ピン配置の指定方法

- I/O Editorによるピン配置の指定方法
 - Libero SoCを起動後、Project をオープン
 - Constraint Manager を起動し、I/O Attribute タブにてPDCを作成
 - Edit with I/O Editor にて編集(PDCのテキスト編集も可)
- PDC(Physical Design Constraint)ファイルとして保存

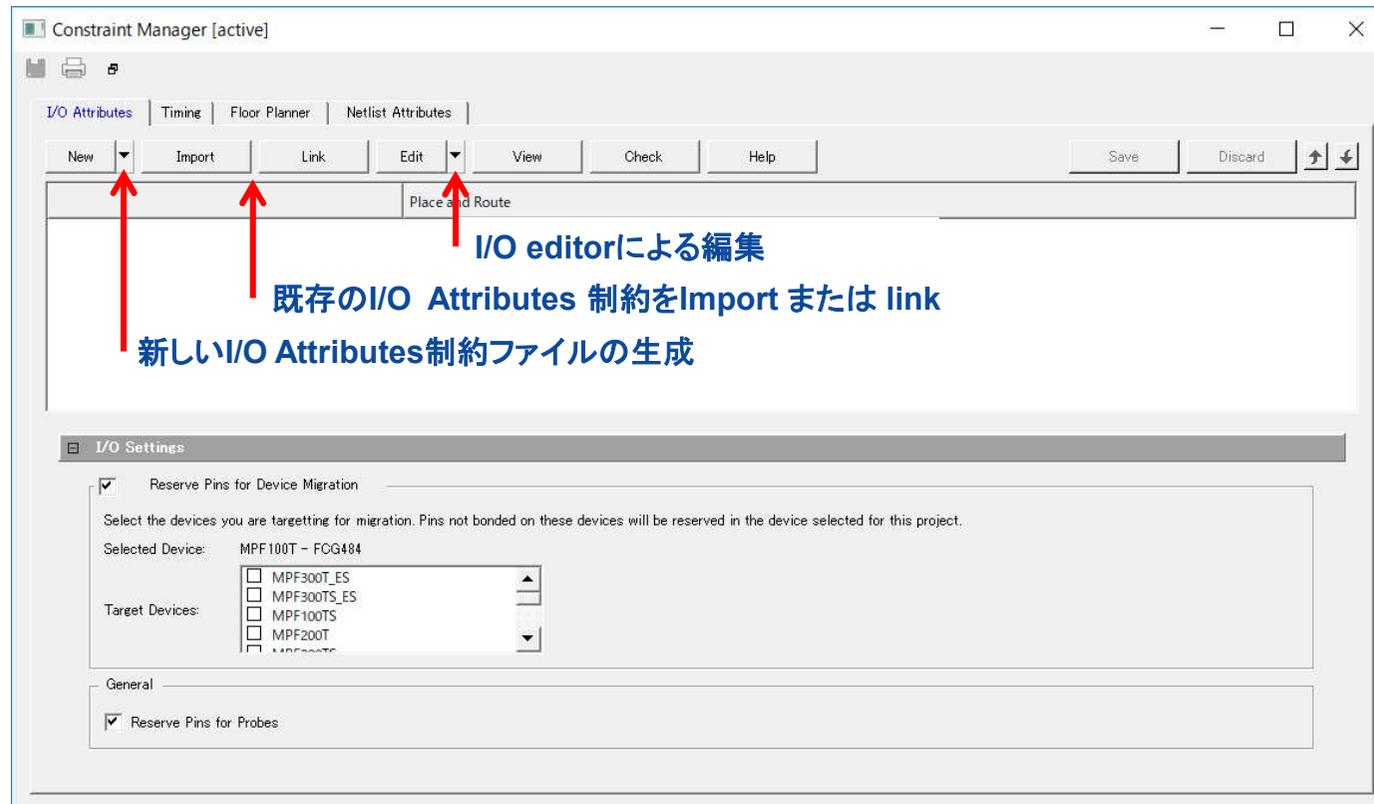
Constraint Managerの起動

- Libero SoC を起動後、Projectをオープン
- Synthesizeのみ実施
- “Design Flow”ウィンドウのManage Constraintsをマウス右クリックし“Open Manager Constraints view”を選択



I/O Attributes制約

- Constraint Manager : I/O Attributes タブ
- I/O Attributes制約ファイルの生成
 - 既存ファイルをImportまたはLink、またはI/O エディタで編集
 - 複数のPDCファイルの自動生成をサポート



I/O Attributes制約

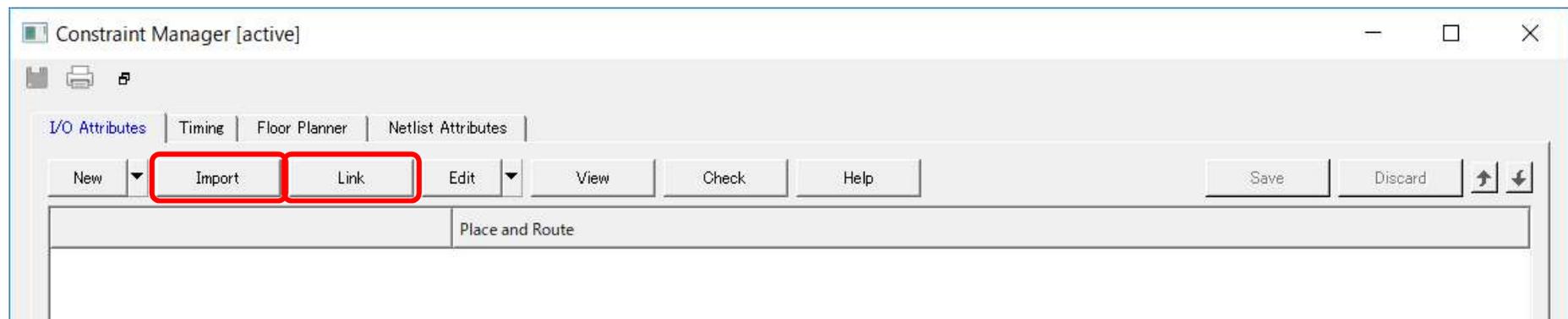
- Create New I/O Constraint : 新規作成
- Create New I/O Constraint From Root Module : 最上位階層から生成
- I/O Attributes制約ファイルの生成
- エディタでPDCファイルを作成

The screenshot shows the 'Constraint Manager' window with the 'I/O Attributes' tab selected. The 'New' dropdown menu is open, showing options for creating a new I/O constraint. A blue arrow points from the 'Create New I/O Constraint' option to a dialog box titled 'Create New I/O Constrai...'. This dialog box has a 'Name:' field and 'Help', 'OK', and 'Cancel' buttons. Another blue arrow points from the 'OK' button to a text editor window titled 'user.pdc*'. The text editor shows the following content:

```
1 |##
2 |# User Locked I/O settings
3 |#
4 |
5 |set_io LED_DS4_P1 \
6 |   -pinname P1 \
7 |   -fixed yes \
8 |   -iostd LVCMOS25 \
9 |   -DIRECTION OUTPUT
```

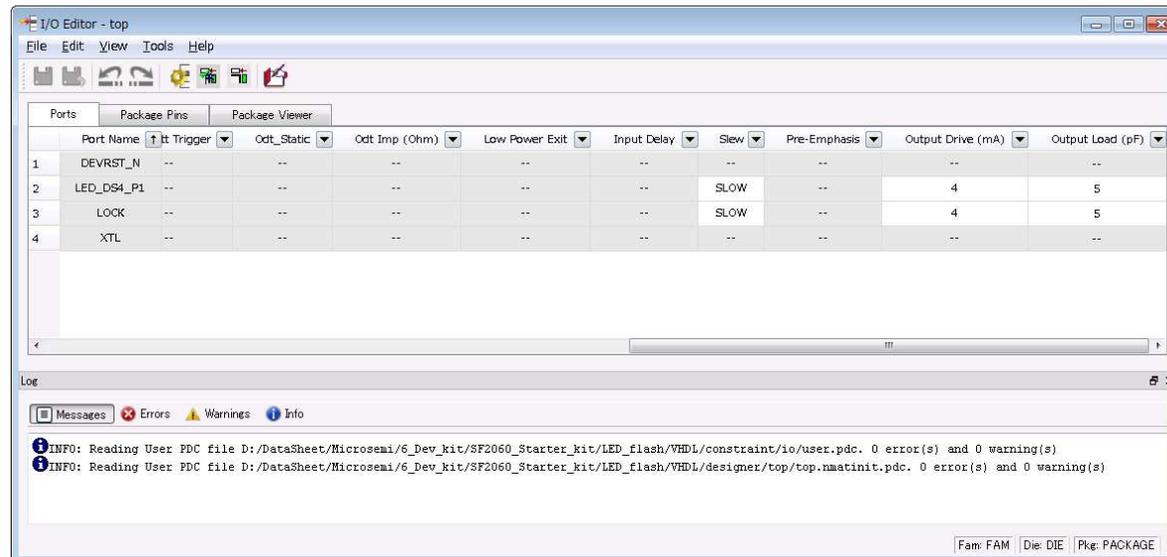
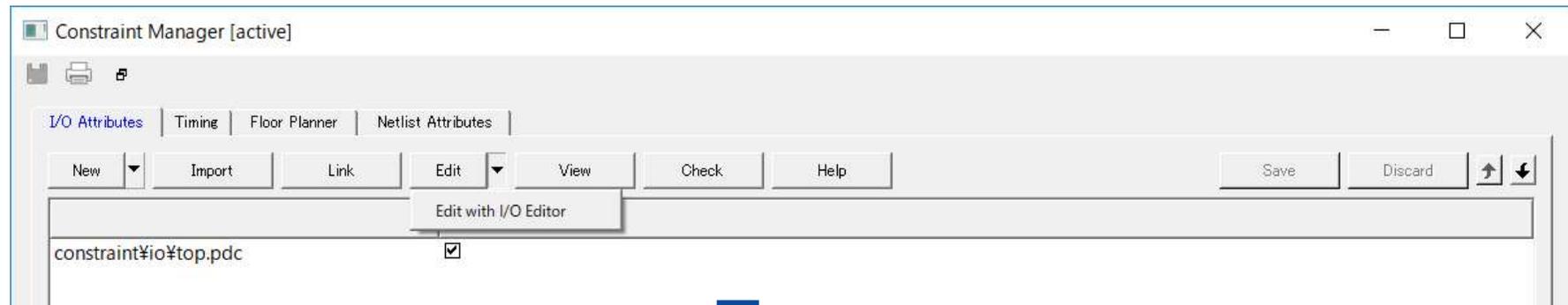
I/O Attributes制約

- ImportとLink
- 既存のI/O Attributes制約ファイルをImportまたはLink



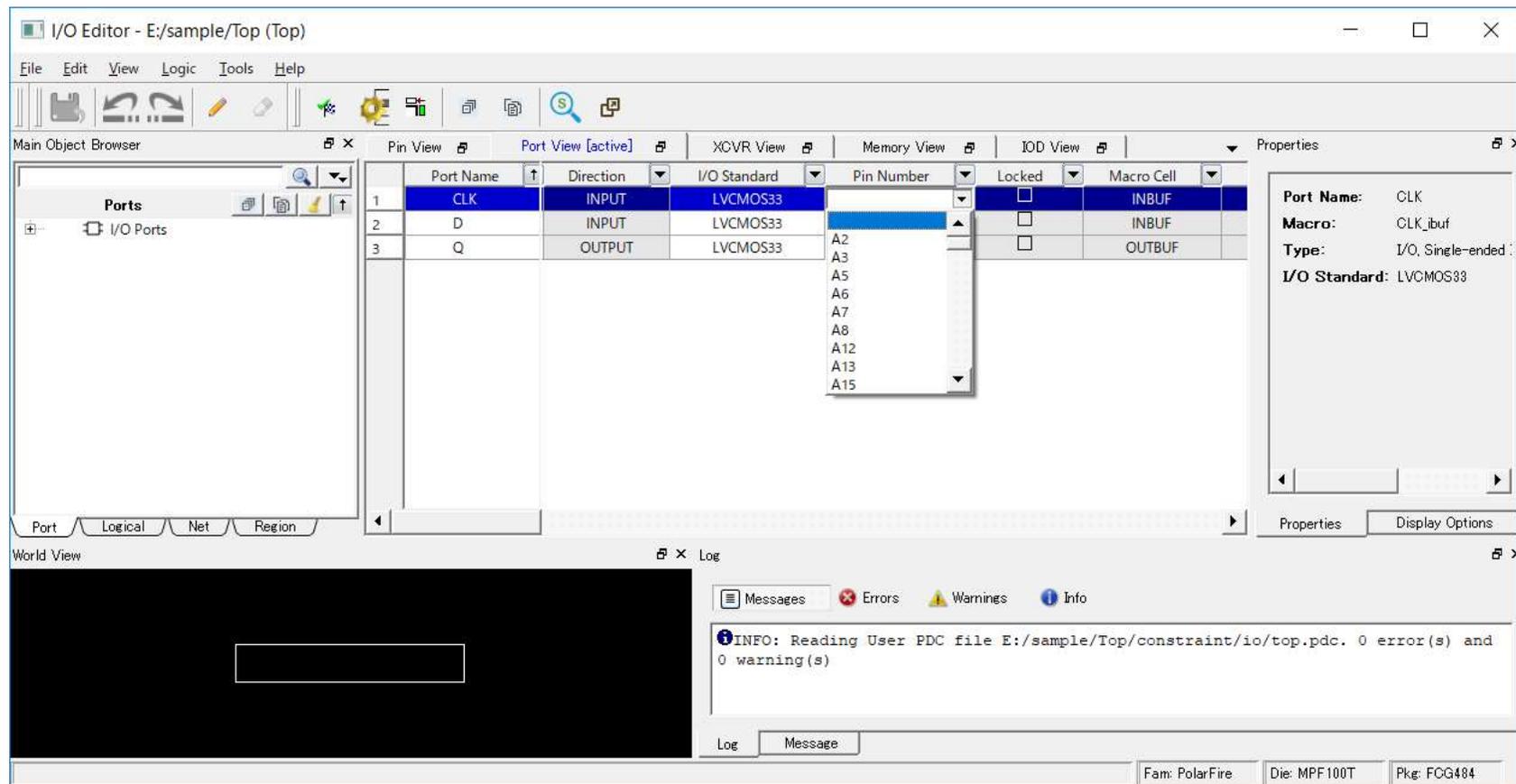
I/O Attributes制約

- Edit with I/O Editor : I/Oの各種制約をGUIで編集
- 事前にPDCファイルの生成および論理合成が必要



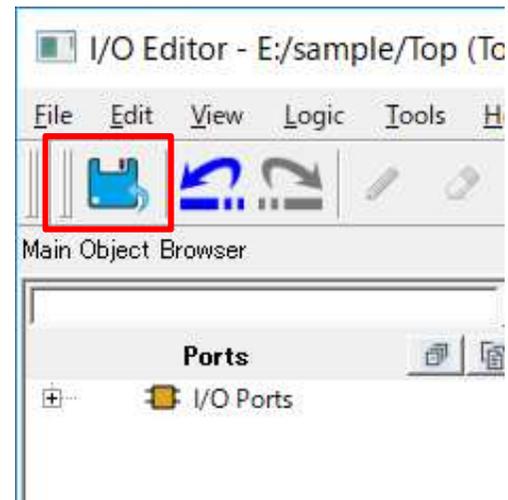
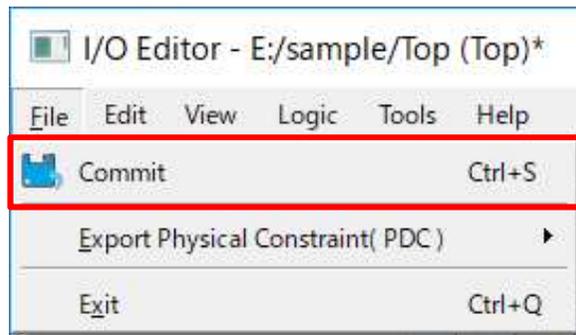
I/O Attributes制約

- Pin Number : 直接入力またはプルダウンから選択
- Locked : チェック



I/O Attributes制約

- 終了時、PDCに保存
- “File” => “Commit”
または
- Commit アイコンを選択



履歴

■ 改版

リビジョン	日付	概要
V1	2018年7月	新規作成
V1.1	2018年12月	デザイン変更
V2.0	2020年4月	Libero SoC V12.3 に対応

弊社より資料を入手されたお客様におかれましては、下記の使用上の注意を一読いただいた上でご使用ください。

1. 本資料は非売品です。許可なく転売することや無断複製することを禁じます。
2. 本資料は予告なく変更することがあります。
3. 本資料の作成には万全を期していますが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、弊社までご一報いただければ幸いです。
4. 本資料で取り扱っている回路、技術、プログラムに関して運用した結果の影響については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. 本資料は製品を利用する際の補助的な資料です。製品をご使用になる場合は、英語版の資料もあわせてご利用ください。